

1/24 福祉学習でペットボトルキャップを収集



▲善防園の方にキャップを手渡す児童

日吉小学校の4年生19人が、福祉学習の一環として、ペットボトルキャップ58,321個を集め、善防園を通じて被災地支援を行いました。4年生が全校生に呼びかけ、保護者や日吉幼稚園など多くの方の協力を得ました。

キャップは、リサイクル会社に1kg17円で引き取られ、そのお金が被災地支援や戦争で困っている子どもたちのために使われます。

1/28 思春期は思いを受け止めることが大切



▲聴く耳をもつ必要性について話す岩井教授

加西市と兵庫教育大学が連携して、精神病理学を専門とする岩井圭司教授の講演会「思春期の心の理解」を、健康福祉会館で開催しました。平成19年度から、人材の育成などを目的に毎年開催しています。

岩井教授は「子どもの援助を求める強い願いを、大人がしっかりと受け止めることが最も大切」などと話し、参加者約110人が聞き入りました。

タウントップボックス

2/1 プロを招き、児童が落語体験



▲桂佐ん吉さん（左）の指導を受けながら落語を体験する児童

北条小学校4年生68人が大信寺で、落語家の桂佐ん吉さんや桂米輝さんから落語を教わりました。日本の伝統文化に触れる機会として、横尾歴史街道つどいの会が企画されました。

児童は高座に上がり、うどんを食べる場面を演じたり、落語を楽しんだりしました。森岡翔さんは「落語は2回目でわかりやすくて面白かった」と笑顔でした。

2/5 石仏彫りにチャレンジ



▲完成作品は3月12日まで五百羅漢境内ギャラリーで展示

北条東小学校の5・6年生10人が、クラブ活動（年間10回）で石仏彫りに挑戦しています。

児童は、昨年5月から五百羅漢保存委員会のメンバーから指導を受け、縦横約15cm、高さ約30cmの「高室石」を、のみとハンマーで彫っています。

最初は戸惑っていた児童も、今では顔の表情などの細かい作業をこなせるようになりました。

2/4 加西市女子チームが3部優勝「兵庫県都市区対抗駅伝」



▲加西市チームの皆さん

■男子チーム（43チームが出場）

順位／31位（3部8位） **タイム**／2時間24分9秒

- 1区 松尾凌和（西脇工高・北条町東高室）
- 2区 宮田 怜（北条高・北条町古坂）
- 3区 吉田凜大朗（北条中・北条町古坂）
- 4区 植田 聡（小野高・北条町古坂）
- 5区 初田龍星（北条高・畑町）
- 6区 宮崎 聡（泉中・広原町）
- 7区 竹内翔太郎（北条高・北条町古坂）

■女子チーム（42チームが出場）

順位／20位（3部1位） **タイム**／1時間21分54秒

- 1区 工藤ひかり（仏教大・北条町西南）
- 2区 西村真咲（小野高・別府町）
- 3区 轟 賀陽子（北条中・北条町古坂）
- 4区 高橋姫乃（北条中・北条町西高室）
- 5区 上坂梨子（北条高・若井町）

問合先／文化・観光・スポーツ課 ☎ 42-8773

2/9 外国語の授業力向上を



▲田尻教授が泉小学校の6年生に行う授業技術を学ぶ教諭ら

平成32年度から小学5・6年生の教科となる「外国語科」への対応や、外国語教育の充実に向けた「英語科授業力向上研修会」を、泉小学校と北条中学校で行いました。

市内外の小中学校の教諭は、講師の田尻悟郎教授（関西大学）から、知的に楽しく学習することの大切さと授業技術を学びました。

2/13 若者支援がまちを元気に



▲「店舗誘致から起業家支援へ。若者を応援しよう」と話す木藤さん

加西市商店連合会主催の講演会「まちの元気は商業から！商店街再生プロジェクト」が、アステシアかさいで開催され、市内外から約90人が参加しました。

参加者は、講師の宮崎県日南市・木藤亮太さん（株式会社津応援団）から「猫さえ歩かない」と言われた商店街に4年間で29の新規出店を実現した経験談を聞き、まちの活性化のヒントを得ました。